

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3125321号  
(U3125321)

(45) 発行日 平成18年9月14日(2006.9.14)

(24) 登録日 平成18年8月23日(2006.8.23)

(51) Int. Cl.

A 4 7 G 25/30 (2006.01)

F I

A 4 7 G 25/30

評価書の請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2006-5336(U2006-5336)

(22) 出願日 平成18年7月4日(2006.7.4)

(73) 実用新案権者 593211762

コラムジャパン株式会社

東京都千代田区神田須田町1丁目4番地

(74) 代理人 100079980

弁理士 飯田 伸行

(72) 考案者 増田 浩司

神奈川県横浜市西区宮ヶ谷54番地ルピナス

横浜三ツ沢公園613号

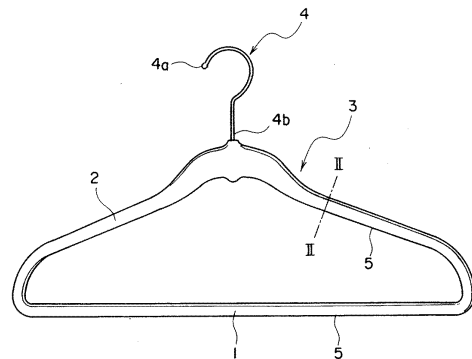
(54) 【考案の名称】 被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガー

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 吊される衣類のずれ落ち防止と型くずれをなくすと共に優れた使用感を体現でき、縦方向に順次連続して掛け吊るすことを可能にする被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガーを提供する。

【解決手段】 合成樹脂を主材として、底辺枠体と該底辺枠体の両端から上方に一体に連続する山形状の肩枠体とからなる衣紋掛状のハンガー主体を適当な厚みで扁平に成形し、該ハンガー主体には、肩枠体の中央に上方に張出するフックを取り付け、主体全体の表面に接着剤を塗布し、その上に短く裁断したレーヨンやナイロンなどの繊維からなるフロックを散布または高圧静電気でベルベット(ピロード)様に植毛固着してなり、必要によって吊垂具を介して縦方向に順次連続して掛け吊るすことを可能とする。

【選択図】 図1



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

合成樹脂を主材として、底辺枠体 1 と該底辺枠体 1 の両端から上方に一体に連続する山形状の肩枠体 2 とからなる衣紋掛状のハンガー主体 3 を適当な厚みで扁平に成形し、該ハンガー主体 3 には、肩枠体 2 の上側面中央に上方に張出するフック 4 を取り付け、主体 3 全体の表面に接着剤を塗布し、その上に短く裁断したレーヨンやナイロンなどの繊維からなるフロック 5 を散布または高圧静電気でベルベット（ビロード）様に植毛固着してなることを特徴とする被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガー。

**【請求項 2】**

前記ハンガー主体 3 に取り付けられたフック 4 をその先端 4 a から差し込んでその根元部 4 b に引掛けて肩枠体 2 の中央部で支持するようにした吊垂具 6 を設けた請求項 1 記載の被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガー。

**【請求項 3】**

前記ハンガー主体 3 の底辺枠体 1 の中央その他の位置に一個以上の洗濯挟み 7 を取り付け、請求項 1 又は 2 記載の被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガー。

**【請求項 4】**

前記吊垂具 6 及び洗濯挟み 7 は、全体の表面に接着剤を塗布し、その上に短く裁断したレーヨンやナイロンなどの繊維からなるフロック 5 が散布または高圧静電気でベルベット（ビロード）様に植毛固着されている請求項 2 又は 3 記載の被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガー。

**【請求項 5】**

前記合成樹脂は、アクリロニトリル（Acrylonitrile）、ブタジエン（Butadiene）、スチレン（Styrene）のコポリマー（共重合化合物）のABS樹脂である請求項 1 記載の被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガー。

**【考案の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本考案は、吊される衣類のずれ落ち防止を図ると共に取り扱いの際の手触り感を良好にする外、柔軟で強い剛性により薄く扁平に成形できるようにして箆笥やクローゼットなどの狭い収納スペースでも多数個を掛け吊るすことができ、又、縦方向に順次連続して掛け吊るすことを可能にすることにより多くの衣類を吊垂して収容できる被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガーに関するものである。

**【背景技術】****【0002】**

従来、軽量ハンガーとしては、一本のワイヤーをハンガー様式に型取った通称はりがねハンガーやプラスチックで形成されたものが広く使用されているが、容易に変形したり破断するなど強度的に安定性を欠く外、吊される衣類が普通の生活において比較的着用頻度の高いシルクのシャツやウールのセーターなどの場合はハンガーから滑り落ちやすく、しかも、ずり落ちた衣類の重みで繊維が伸びてしまうケースが屢々あった。

**【0003】**

上記のような滑りを防止する手段として、シール状のものを貼るか、滑り止め効果のある塗料でコーティングするかなどの方法が提案されているが、それらは年月を経るにつれて滑り止め効果が薄くなったり、剥離してその効果を失うと共に外観も不体裁を呈することが避けられない欠点があった。

**【0004】**

また、強度のあるハンガーは幅広く大きな収容空間を占める構造を有しているものが多く、従って、箆笥やクローゼットなどの一定の空間に吊るして収容できる洋服、コート、ジャケットなどの衣類の数も制約される。

**【0005】**

その他に、第 3069649 号登録実用新案公報に示すような商品陳列用ハンガーが提

10

20

30

40

50

案されているが、この考案は、小売り店舗等で主としてシャツ等の衣類を販売する際に、衣類をハンガーに掛けたまま折り畳み、かつ、折り畳んだ状態のまま陳列することができるようにしたものであって、ハンガーの横杆の下部に着脱自在の掛止手段を有する帯体が環状に形成され、該帯体により衣類等を挟着抱持するようにしたものであるから、衣類を吊るす一般的なハンガーとは使用目的や構造を全く異にしているものである。

【特許文献1】第3069649号登録実用新案公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0006】

本考案の目的とするところは、吊される衣類のずれ落ち防止を図り、それによって吊される衣類の伸びに伴う型くずれをなくすと共に、取り扱いの際の手触りがソフトタッチで良好な風合いがあるなどの優れた使用感を体現できる外、外見上も頗る簡素で優美な姿態を有する剛性、硬度、耐衝撃性などに富む被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガーを得ようとするものである。

10

【0007】

それに加えて、柔軟で強い剛性により薄く扁平に成形できるようにして箆筍やクローゼットなどの狭い収納スペースでも多数個を掛け吊るすことができ、又、縦方向に順次連続して掛け吊るすことを可能にすることにより多くの衣類を効率的に吊垂して収容できる被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガーを得ようとするものである。

【課題を解決するための手段】

20

【0008】

本考案は以上の如き観点に鑑みてなされたものであって、その主たる構成は、アクリロニトリル (Acrylonitrile)、ブタジエン (Butadiene)、スチレン (Styrene) のコポリマー (共重合化合物) であるABS樹脂その他の合成樹脂を主材として、底辺枠体と該底辺枠体の両端から上方に一体に連続する山形状の肩枠体とからなる衣紋掛状のハンガー主体を適当な厚みで扁平に成形し、該ハンガー主体には、肩枠体の上側面中央に上方に張出するフックを取り付け、主体全体の表面に接着剤を塗布し、その上に短く裁断したレーヨンやナイロンなどの繊維からなるフロックを散布または高圧静電気でベルベット (ピロード) 様に植毛固着してなる被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガーを提供しようとするものである。

30

【0009】

さらに、前記ハンガー主体に取り付けられたフックをその先端から差し込んでその根元に引掛けて肩枠体中央部で支持するようにした吊垂具を設けた被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガーを提供しようとするものである。

【0010】

さらに、前記ハンガー主体の底辺枠体の中央その他の位置に一個以上の洗濯挟みを取り付けた被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガーを提供しようとするものである。

【0011】

前記吊垂具及び洗濯挟みは、全体の表面に接着剤を塗布し、その上に短く裁断したレーヨンやナイロンなどの繊維からなるフロックが散布または高圧静電気でベルベット (ピロード) 様に植毛固着されている。

40

【考案の効果】

【0012】

本考案に係る被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガーは以下のような効果を有する。

(1) ハンガー主体は、アクリロニトリル、ブタジエン、スチレンのコポリマーであるABS樹脂その他の合成樹脂を主材して衣紋掛状に扁平に形成されているから軽量で且つ剛性、硬度、耐衝撃性などに優れており、強度的に堅牢である。

(2) ハンガー主体の表面全体がフロック仕上げでベルベット (ピロード) 様の粗面を呈しているから、被吊衣類の布地との間での摩擦係数が高く、それによって被吊衣類の荷重を平均的に分散させることができるので、被吊衣類のずれ落ちがなく、ずり落ちた衣類の

50

重みで繊維が伸びるようなことがない。

(3) フロックにいろいろな色の繊維を用いたハンガーを用意すれば、被吊衣類を着用者毎にハンガーの色分けで簡単に識別できる便利さがある。

(4) ハンガー主体は柔軟で強い剛性により薄く扁平に成形できるので、箆笥やクローゼットなどの狭い収納スペースでも多くのハンガー主体を掛け吊るすことができ、それによって多くの衣類を効率的に吊垂して収容できる。

(5) 外見上も頗る簡素で優美な姿態を呈するから、周囲の状況に違和感なく適合することができるもので内装的にも良好なデザインを発揮するものである。

(6) ハンガー主体のフックの根元部に引掛けて肩杵体中央部で支持される吊垂具に別のハンガーのフックを掛けて吊るすことにより、ハンガーを順次縦方向に連続して掛け吊るすこともできる。

(7) ハンガー主体の底辺杵体に洗濯挟みを取り付ければ、その洗濯挟みに小物の衣類等を、その一部を挟持させて吊り下げることができる。

(8) 取り扱いの際の手触り感がソフトタッチで良好な風合いを有しているので優れた使用感を体験できる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0013】

以下、本考案の具体的な一実施例に係る被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガーを図面を参照しながら詳細に説明する。

アクリロニトリル (Acrylonitrile)、ブタジエン (Butadiene)、スチレン (Styrene) のコポリマー (共重合化合物) であるABS樹脂その他の合成樹脂を主材として、底辺杵体1と該底辺杵体1の両端から上方に一体に連続する山形状の肩杵体2とからなる衣紋掛状のハンガー主体3を適当な厚みで扁平に成形されている。

【0014】

前記ハンガー主体3にはその肩杵体2の中央に上方に張出するフック4が取り付けられている。

【0015】

前記ハンガー主体3全体の表面に接着剤を塗布し、その上に短く裁断したレーヨンやナイロンなどの繊維からなるフロック5を散布または高圧静電気でベルベット (ピロード) 様に植毛固着してある。

【0016】

さらに、前記ハンガー主体3に取り付けられたフック4をその先端4aから差し込んでその根元部4bに引掛けて肩杵体2の中央部で支持するようにした吊垂具6が設けられている。該吊垂具6の形状は、全体がフック4の先端4aが入る空間部6sを圍繞する杵体であって、前記フック4の根元部4bに引掛けられて係止する上縁部6aと、該上縁部6aから連続して前記肩杵体2の上側側面に当接する緩斜面部6bと、該緩斜面部6bから連続して前記肩杵体2の正面に当接する急斜面部6cと、該急斜面部6cから連続して下端部を上方にU字状に起立した起立面部6dとから構成されている。

【0017】

前記ハンガー主体3のフック4の根元部4bに対して引掛けられる上縁部6a、ハンガー主体3の肩杵体2の上側側面に当接する緩斜面部6b、肩杵体2の正面に当接する急斜面部6cとでハンガー主体3の肩杵体中央部で支持される吊垂具6の下端部において、急斜面部6cと起立面部6dとで形成されるU字状承部に別のハンガーのフックを掛けて吊るすことにより、ハンガーを順次縦方向に連続して掛け吊るすことができる。

【0018】

さらに、前記ハンガー主体3の底辺杵体1の中央その他の位置に一個以上の洗濯挟み7を適宜に取り付けて使用することもできる。

【0019】

前記吊垂具6及び洗濯挟み7は、前記ハンガー主体3と同様に、全体の表面に接着剤を塗布し、その上に短く裁断したレーヨンやナイロンなどの繊維からなるフロック5が散布

10

20

30

40

50

または高圧静電気でベルベット（ビロード）様に植毛固着されている。

【図面の簡単な説明】

【0020】

【図1】本考案一実施例の被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガーの全体を示す斜視図である。

【図2】本考案一実施例の被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガーを構成する枠体の構造を示す図1のII-II拡大断面図である。

【図3】本考案の他の実施例の被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガーを順次縦方向に連続して掛け吊るした状態の使用例を示す構成図である。

【図4】本考案の被吊衣類のずれ落ち防止用軽量ハンガーに使われる吊垂具の一例を示す斜視図である。

10

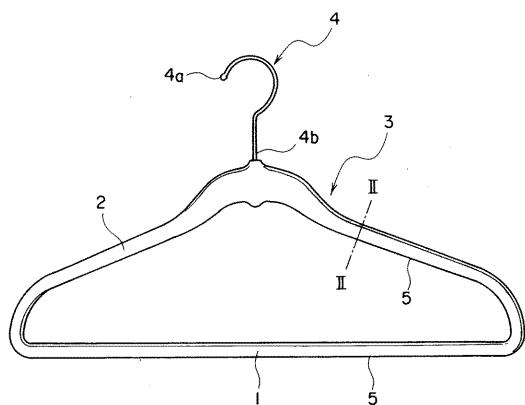
【符号の説明】

【0021】

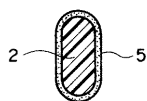
- 1 底辺枠体
- 2 肩枠体
- 3 ハンガー主体
- 4 フック
- 4 a フック先端
- 4 b フック根元部
- 5 フロック
- 6 吊垂具
- 7 洗濯挟み

20

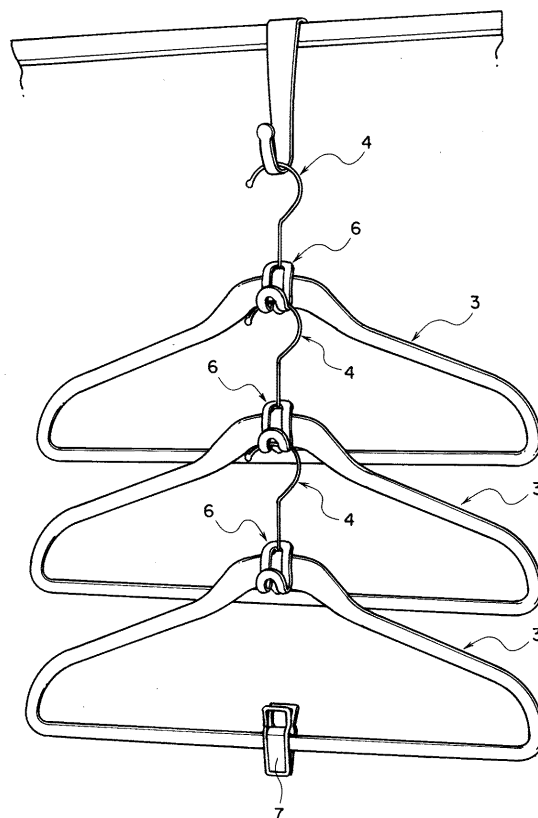
【図1】



【図2】



【図3】



【 図 4 】

